

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 5 月 20 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		後期高齢者医療保険料賦課・収納事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連										
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康							
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	仁田 真由美							
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	高齢者保険班	(内線)	2114							
予算科目	会計	25	款	1	項	1	目	1	事業連番	11239	法令根拠	高齢者の医療の確保に関する法律	成果優先度評価結果	8	コスト削減優先度評価結果	-
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)												

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成20年4月より施行された後期高齢者医療制度は、75歳以上(一定以上の障害がある場合は65歳以上)の方を対象とした医療制度であり、都道府県ごとに全ての市町村が加入する広域連合が運営主体となって制度の運用を行う。市は保険料の収納事務や負担金の納付、窓口として各種申請書の受付・入力事務などの業務を行う。 なお、平成22年度は保険料率の改定があり、均等割が46,700円から47,000円へ、所得割率が8.62%から9.03%へ引上げられる。また、高齢化の進行に伴い被保険者の増加が見込まれるため、滞納金額の増加が懸念される。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 被保険者の加入・脱退・資格変更の届出や保険証の交付 保険料納入通知書の作成・送付及び保険料の徴収 給付に関する申請受付・入力処理及び広域連合への進達 熊本県後期高齢者医療広域連合への負担金の納付
【主な予算費目】	・需用費、役務費、委託料、負担金補助及び交付金(広域連合納付金)、還付金
【意見や要望】	政権が変わったことによって平成25年に制度廃止の予定である。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動) (DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
被保険者約5,000名を対象として、被保険者証の交付、資格異動時及び給付関係の各種申請の受付・入力処理、保険料の徴収および広域連合への納付等を行った。	同左
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
→ ア 調定額 円	→ ア 各種申請の数 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 (単位)	→ ア 被保険者数 人
・後期高齢者医療被保険者(原則75歳以上の方)	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (単位)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
・適切な医療給付を受けられるようにする。	→ ア 各種申請等の誤処理件数 件
・保険料を確実に納付してもらう。	→ イ 収納率 %
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
保険料の確実な納付により、安定した制度の運営ができ、医療が適正に受けられる。 22年度の保険料率引上げに伴い、収納額を前年より大きく見込んだ。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込	
④ 活動指標	ア	円		318,407,000	320,000,000	324,121,900	383,964,000	385,000,000	388,000,000	
	イ	件		1,520	2,561	2,561				
⑤ 対象指標	ア	人		4,995	5,100	5,205	5,400	5,600	5,800	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	件		8	10	10	0	10	10	
	イ	%		99.48	100	99.22	100	100	100	
投資入量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		310,010	328,152	326,056	384,446	385,000	385,000
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円		82,847	83,978	86,042	103,428	103,000	103,000
		(A) 事業費計	千円	0	392,857	412,130	412,098	487,874	488,000	488,000
		(A)のうち指定経費	千円							
		(A)のうち時間外、特勤	千円		219	267	354	245	250	250
		人件費	千円							
人件費	正規職員従事人数	人		6	6	7	7	7	7	
	延べ業務時間	時間		2,556	2,000	1,924	1,924	1,924	1,924	
	(B)人件費計	千円	0	10,224	7,960	7,658	7,658	7,658	7,658	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	403,081	420,090	419,756	495,532	495,658	495,658	

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

事務事業名	後期高齢者医療保険料賦課・収納事務事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	---------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

保険料の軽減措置拡大により、平成20年10月から21年8月まで年金から特別徴収できなかった被保険者が多数あった。そのため、軽減に該当された方の21年7,8,9月の保険料3回分が普通徴収になったことで、問い合わせ及び払い忘れが多数あり、対応及び徴収に苦慮した。
 今後はこのようなケースが大量に発生することはないと思われるが、類似のケースがあれば周知徹底を図ることで誤解や払い忘れを防ぎ、収納率の向上に努めたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策